

地域として推進する放牧酪農の取組

あしょろぐんあしょろちょう
(北海道足寄郡足寄町)

1 概要

① <概要・データ>

- 平成8年に7戸の酪農家で「足寄町放牧酪農研究会」を立ち上げ、低コストで安定した酪農経営を目指した集約放牧を開始。
- 飼料代などの経費が減少し、会員の所得率の平均が平成8年の約30%から平成15年には45%へと、7年間で大幅に改善。
- 放牧によって、牛のストレスを解消し、牛本来の健康を回復。これにより発情－受精－妊娠－分娩のサイクルが円滑化し、疾病の減少、牛の耐用年数の延長という効果を発現。
- これらの成果を踏まえて、平成16年3月、足寄町議会は「放牧酪農推進の町」を宣言し、町として取組を推進。



(放牧風景)



(放牧風景)

② <特徴的な取組>

- 専用放牧地を作り、1牧区を1haに仕切って、20牧区設置。1牧区当たり50頭を昼夜放牧し、翌日に他の地区へ移動させることで、高栄養価の短い草丈の牧草を菜食。
- 慣行法では配合飼料を4回／日の給与するところを、放牧により朝夕2回／日の給与に減らし、飼料費及び労働時間の節減を実現。
- これまでに放牧酪農を実践する新規就農者が13名（酪農家11、肉用牛1、羊1）。
- 平成15年から「北海道放牧酪農ネットワーク交流会in足寄」を毎年開催し、近年は全国から250名以上が参加。

(都道府県地図)

